

徳川家康に想いを馳せて久能山東照宮・駿府城へ

母のショートステイに合わせて久能山東照宮と駿府城への旅を企画しました。こちらを10時30分頃の出発しかできないので、宿を取りゆっくり見学できるようにして一日目は久能山東照宮と三保の松原見学。二日目は歴史博物館・駿府城・浅間神社と家康が人質時代に学んだ臨濟寺を予定。

ナビに日本平久能山スマート IC は未登録

11時ころに東名高速に入ると、思っていたような込み具合ではなく順調に走行することが出来た。浜名湖 SA で休憩にして湖を眺めながらベンチに腰かけてランチ。このランチは今回もコンビニで助六を購入してきたもの。目の前に広がる浜名湖を眺めながらの助六は最高! 建物の中で食べるよりも景色も一緒に味わえて旨い事抜群、もちろん費用もお値打ちで言うことなし。

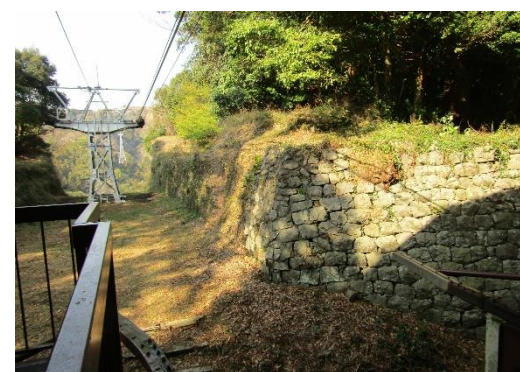
小休止して出発、今度は日本坂 PA で小休止にしてナビで日本平ロープウェーを設定する。でも、私の車のナビは日本平久能山に最も近い所にあるスマートインターチェンジが登録されていないのだ。静岡インターからの案内しか出ない。車はまだ3年と新しいつもりでいたのだが……しかし、途中からは一緒になるだろうからとそのまま設定した。豊明～日本平久能山までの高速料金は4100円と安くはない金額だった。

ロープウェー駅への案内はなく、駐車場も満車で…

スマートインターチェンジを出てかなり走ったがそれらしい雰囲気ではなく、日本平ロープウェーの案内は見当たらない。それから少し走るとくねくね道を進み日本平動物園の案内が出てきた。さらに走るもやはりロープウェーの案内は見当たらない。一つや二つは案内があっても不思議ではないのに。やっと14時ころ駅前駐車場に到着するも、ロープウェー駅の駐車場はぐるりと回ってみても満車だった。駅で尋ねると少し下ったところにも駐車場があると言うので、やむを得ず移動しようと思った。が、それでもと駐車場内を再度一回りしたらラッキー、1台分の空きが見つかりました。

日本平から久能山東照宮へのロープウェーは、上るのではなくて隣の山へ下っていきます。久能山駅に到着する前に、久能城の石垣がロープウェー駅横に見られますと案内がありました。降車すると目の前に立派な石垣が現れました。

右の写真が久能城跡の石垣



久能山の歴史は、久能寺→久能山城→久能山東照宮

観光施設に特有のパフレットが久能山にはありませんでした、これだけ有名なのに珍しいです。その代わり説明看板がありました、それには以下のような説明がありました。

久能寺 案内のあった久能山城以前に、平安初期に久能寺があり多くの僧坊が建てられていた。断崖絶壁に囲まれた自然の要害であり、南北朝時代の乱、室町時代の今川氏の内紛などでは兵が立て籠もることも。次第に寺院城郭としての一面を持つに至った。

久能山城 駿府に攻め入った武田信玄は、永禄2年(1569)久能山にあった寺院を移し、本格的な山城を築いた。この城は武田氏の北条氏・徳川氏への備えの拠点として重要な役割を担った。

久能山東照宮 元和2年(1616)家康公が駿府城にて亡くなり、家康公の遺言により亡骸を久能山に埋葬。二代将軍秀忠公が本堂などの造営を命じ、久能山城を廃して東照宮を創建した。



東照宮は黒字に金色の装飾と朱色の手すり

階段のわきにはヒガンザクラがきれいに咲き誇り、本殿は黒地に金色の装飾がとても華やかで美しい本堂と、朱色が鮮やかな拝殿で構成されている。本堂の前には国宝の看板が立てられており、他の建物はほとんどが重要文化財に指定されている。多くの方が訪れており、これも大河ドラマの影響が大きいのだろう。しかし、よく分からないのはご祭神が徳川家康だけではないのだ。

御祭神…徳川家康公 相殿 織田信長公・豊臣秀吉公とあります。つまり、主祭神は徳川家康公ですが、織田信長公と豊臣秀吉公もお祀りしています。

これは何故でしょうか! 二代将軍が家康公のほかに、この二人を合わせてお祀りすることがあるのでしょうか? 私には考えられません。相殿の説明はないので不明です。が、後の時代になってから神社関係者が考えてお祀りしたと思われます。

本殿の後ろに回ると 1.5m ほどの高さにお墓、御廟所があります。墓所は高さ 5.5m の石造りで、外回り 8mのこれも石造りの台座の上にあつて遺名により西向きに建てられています。地元の乾坤院の忠政



公の宝塔も立派なものと思いますが、さすがに家康公のお墓は威厳に満ちて風格があると言えます。

お参りと見学を終えてロープウェー駅に戻る途中の展望所からは、鈍く光る太平洋と石垣苺のビニールハウスがたくさん並んでいるのが美しく、ホット落ち着く景色です。

三保の松原で静岡おでん!!

三保の松原個人用駐車場をナビにセットして、日本平を下ります。こんな時ほどナビのお世話になることはありがたいです。ナビで分かりましたが、駐車場は観光バス用と個人車用に区別して登録されていました。狭い道も通りましたがすんなり16時ころ到着し、きれいな駐車場は細かな石が敷かれこれまでに見たこともないような立派で、十分な広さに区画されていました。これで無料とはびっくりしました。と、言うことは完全に税金で維持管理されている事なので、静岡市はお客様の誘致に力を入れてことが分かります。

駐車場から1分も歩くと松林が現れます、立派なお土産店や小さな茶店風の店もありますが、まずは松林と海を見に行きます。ここは富士山エリアで世界遺産になっていますから、その碑もありました。すぐ先には「羽衣の松」があって、その先に砂浜があって若者たちが遊んでいました。中年と分かる女性の二人連れも砂浜を歩いていました。沖合に一艘の船が浮かび、太平洋が広がっています。しかし、期待していた富士山は雲が多くて見られませんでした。



日本三大松林として三保の松原、虹ノ松原、気比の松原がありますが、何と言っても富士山とセットになっているのは三保の松原だけです。松林には大きくくねる松の木もあれば、横に長く伸びた木もあります。いつか見たテレビで、大きくくねった松の木の前の写真がアリバイに使われたドラマがあったことを思い出しました。その松の木を探し出すことで、実は松林が三保の松原ではなく、虹の松原だったというものでした。そんな話をしながら松林を抜け



ると、私たちより若いけど中年の二人連れが茶店の前でソフトクリームを食べていました。そこに静岡おでんの旗がありましたので、明日ではなくここで食べようと店に入りました。よく知られる黒はんぺんを食べましたが、魚粉が振りかけられとても旨かったです。1本120円でお好み3本セット360円の味は、地元のおでんとは違った旨さがありました。

食べ終えて駐車場に帰る途中に、両側を松の木が覆った歩道がまっすぐ延びていました。数百メートルは続いているみたいです、そこには「神の道」の看板がありました。何故神の道と命名したのか、いわれは分かりませんがこの道を歩くと神様のご加護があるのかな？ この後ホテルへ向かいました。